



東日本大震災・支援対策本部ニュース

—届けようワイズの心—

2か月半が経った今も、約1万人の方が避難所での生活を余儀なくされています。仮設住宅に移られたあとの生活も決して楽ではありません。瓦礫の荒野と化した住宅地、田畑は手つかずのところが多いです。私たちにできることはきっとたくさんあるはずですが、東日本区ではこれからも、YMCAとの連携のもとに、被災者のニーズに応えたタイムリーな支援を皆さまができるような情報提供、サポートを行ってまいります。

1. 支援物資について

- 被災地の支援物資へのニーズは時が経つにつれ変化していきます。最新の情報は「ワイズドットコム」のメールでお伝えするとともに、東日本区ウェブサイトの「News」の項に掲載しています。

<http://www.ys-east.or.jp/news/news.htm>

(ワイズドットコムにまだ加入されていない方は是非メンバーとなって下さい。東日本区 IT アドバイザーまでメールでご連絡下さい。)

- 最新の要請としては、盛岡 YMCA が以下を希望されています。ご協力をお願いいたします。

<Tシャツ> (新品に限る)
男性物・女性物 サイズ各種
<女性用春夏ズボン>
サイズ各種
<女性用長靴>
サイズ 23～24

現地の物資置き場には限りがあり、また、ニーズは日々変化していますので、購入・送付前に必ず盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンターにお問い合わせください。送付先の住所等はその折にご確認下さい。

<盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンター>

ymca.volunteer.center@gmail.com

携帯電話番号 080-6010-5478

- 支援対策本部では仙台 YMCA、盛岡 YMCA からの要請を受け、現地で買えないものは購入して搬送し、現地で調達できるものはその物資相当の現金を贈っています。これまでに東日本区としては電動自転車、発電機、高圧洗浄機、洗濯機等の大型物資を搬送または資金提供しています。これらの資金は皆さまからの以下の支援募金の献金を用いています。

2. 支援募金について

5月25日現在で、東日本区には以下の金額が届いています。(YMCA 同盟や各地の YMCA、あるいは赤十字、地方自治体、新聞社等への献金は含まれていません。これらの場合もご連絡下さい。記録に残しておきたいと思えます。)

区分	件数	金額
クラブ	41	3,839,901
部その他	8	423,959
個人	12	601,000
海外	11	5,441,881
合計	72	10,306,741

3. 各地のワイズメンズクラブの取組み

<東京銀座クラブ>

5月14日(土)に大船渡の小学校、ホールの



避難所で、同15日(日)には南相馬の保健センターの避難所で豚汁、肉野菜炒め等の炊き出しを行われました。併せて、文具、夏

もの衣類等の物資提供も行われました。

5月28日(土)、29日(日)には東松島市の「復興祭り」で焼き鳥等のボランティア出店を行われる予定です。これには在仙台3ワイズメンズクラブ、東京 YMCA 関連のユースグループ(チョトショップノ)も協力参加する予定です。

<横浜関内クラブ>

これまでメンバーの車で仙台 YMCA に食料、衣類等を搬送され、またチャリティーコンサートを開催し募金を集められる等の積極的な支援活動を行ってこられていますが、6月10日(金)には専門レストランの協力を得、被災地でインドカレーの提供を行われる計画です。

<信越妙高、甲府、東京サンライズ、長野クラブ>

部の枠も越えて、4クラブ合同の街頭募金が5月18日(水)長野市・善光寺で行われました。信越妙高クラブと長野クラブは



2度目の協働です。

(支援対策本部では募金の成果を上げるため、ご覧の様な横断幕、募金箱を制作しました。ご入用のクラブはご連絡下さい)

4. クラブ独自の取組みの支援

支援対策本部では各クラブでの被災地の支援活動を応援いたします。

クラブまたは部として独自に東日本大震災の支援活動を行う場合、東日本区支援対策本部に事前に申請いただき、承認を得た場合、支援活動にかかった費用の内、原則半額を限度として援助いたします。ただし：

- (1) クラブ、部による支援活動に限り、個人としての支援活動は対象外とします。
- (2) 被災者(地)に支援物資を送付・搬送するだけの支援活動は対象外とします。

期限は特に定めていません。是非ご活用下さい。詳しくはご照会ください。

5. 宮古でのボランティア受け入れ

盛岡 YMCA では宮古教会を拠点として、盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンターを運営し、



岩手大学の学生を中心に被災者支援活動を行っています。夏休みまでの間、ボランティア要員が不足することが考えられ、全国

からの支援を受け入れています。以下の条件にあてはまる方、クラブは詳細をお問い合わせ下さい。

- ① 寝袋での生活ができる方
- ② 3名以上のグループでの参加
- ③ 可能であれば3日以上1週間程度の参加
- ④ 健康面、体力面で自信のある方

【ボランティア派遣のお問い合わせ先】

- ① 全国の窓口として：(財)日本 YMCA 同盟 協力部 光永尚生主事 (03-5367-6640 (平日))
- ② 現場の担当 YMCA: 特定 NPO 法人盛岡 YMCA 総主事 濱塚有史さん (019-623-1575 (午後))

なお、盛岡 YMCA の被災地支援活動については以下のウェブサイト(宮古ボランティアニュース)をご覧ください。

<http://www.ymcajapan.org/morioka/2011.miyakonews1.pdf>



また、仙台 YMCA の東松島、多賀城、南三陸等での被災地支援活動については以下のウェブサ

イト(仙台 YMCA ボランティア支援センター)をご覧ください

https://sites.google.com/a/sendai-ymca.org/volunteer_support/home

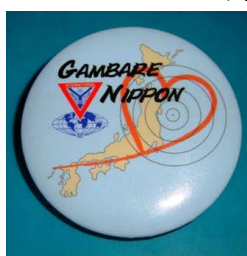
6. 支援グッズ

<「がんばろう日本」シール>



支援対策本部で制作しました。直径 9 センチ。クラブ内での意識の盛り上げ、協力者への記念品等にお使い下さい。1枚 100円で頒布いたします。松本東日本区区大会でもお求めになれます。

<「がんばれ日本」缶バッジ>



国際本部が制作し、各国のワイズに無償で提供しています。直径 3.8 センチ、金属製、安全ピン付き。松本東日本区大会参加者には配布し、必要数をクラブにお持ち帰りいただきます。

7. 被災者支援・松本東日本区大会

6月4日(土)、5日(日)に長野県松本市・松本文化会館で開催される第14回東日本区大会は「松本から届けよう ワイズの心」をキャッチフレーズに、従来のプログラムの予定を一部変更しての開催です。

特別公演として菅谷松本市長に「福島原発事故と子供たちのこと」と題して、同氏がチェルノブイリ原発事故の際、医師として現地でも5年間医療活動に携われた体験談をお話しいたできます。また記念講演者の歌手・俳優の上條恒彦さんには元気の出るお話と歌をお願いしています。仙台 YMCA 大野総主事の現地報告や各クラブの支援活動の体験談を聞くひとときもあります。

さらには、被災地復興の一助として、仙台味噌、宮城県産ささにしき、気仙沼産海苔等の物産、さらには河北新報の特別報道写真集の販売も行います。大会未登録で参加を希望される方は至急松本クラブ・金井大会実行委員長にご連絡下さい。

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区 東日本大震災・支援対策本部

本部長：松田理事

本部統括：田中書記

メンバー：河合次期理事、原直前理事、
佐藤会計、小原地域奉仕事業委員長、
鈴木事務所長、林事務所副所長、
清水元理事

今私たちにできることを・・・